



作家 志茂田 景樹

## 突き進んだ先に 喜びがある

作家・志茂田景樹さんのツイッターによる人生相談が人気を博しています。そこには、親子関係や恋愛の悩みなど、さまざまな相談が寄せられています。人生の苦難を乗り越えていく知恵とは――。

### 一歩を踏み出す勇氣

今、僕はツイッターで人生相談をしています。ここ最近、学校を卒業しても就職せず、自分の夢を探し続けている若者が増えてきたように思います。幸せはきっとどこかにはあるはず。いま自分が幸せでないのは、まだ見つけていないからだ。それを見つければ、すぐにでも幸せになれるのに、というわけです。

でも、なんとなく彼らの気持ちがかかるんです。閉塞感へいそくが漂うこの社会の中で、根拠のない常識じょうしきに踊らされ不安でたまらないのだと思います。ただ一つ言いたいのは、とにかく夢に向かっての「一歩を踏み出すべきだ」ということです。なぜかといえは、幸せって、急に目の前に現われるものじゃないし、自分の力で走りながら見えてくるものだからです。

そもそも先のことなんか、誰にも分  
かりっこないんです。ああすればこう  
なると、固定化された図式に当てはめ  
てみたところで、予想通りにいくわけ  
がない。同じ努力をしても成功する人  
もいれば、失敗する人もいる。どんな  
に頑張っても実らないこともある。世  
の中は厳しく、理不尽なこともたくさ  
んあるけれども、そのまた逆もある。  
一所懸命やっていると、知らないうち  
に人が助けてくれたりもする。まった  
く予想だにしない展開が待ち受けてい  
たりもする。

僕も、若い頃は、探偵や塾講師、週  
刊誌記者など、二十数種類以上の職業  
を転々としてきましたが、そのすべて  
が無駄だったかといえ、そんなこと  
はない。人生の免疫というか、いい肥  
やしになっているんです。

ツイッターの人生相談でも、「挫折  
はね、靴を一足履きつぶしたようなも

の。だから、新しい靴を履いてまた一  
歩踏み出そうよ！」ってよく言うんで  
す。その仕事が自分に合うかどうかは、  
とにかくやってみなければ分かりませ  
ん。どうなるか分からないけど、まず  
やってみる。好きだからでも、面白い  
からでも、人のためになるからでも、  
動機はなんでもいい。勇気を出して、  
自らを変える第一歩を踏み出すこと  
です。そうしたら、自分を変えるチャン  
ス、自分を伸ばすチャンスはいくら  
もありません。

最初の一步を踏み出すのは、確かに  
不安かもしれない。私もそうでした。  
でも、人生は一発勝負ではありません。  
その次だってあるんです。いくらでも  
やり直せるんです。自分の夢に向かっ  
て必死になって努力する。そうして突  
き進んでいるときにこそ、人は苦難を  
乗り越えていく力がわいてくるのでは  
ないでしょうか。

## みんな違って、みんないい

今、世の人びとは皆、あまりにも人  
生をコントロールしようとしすぎてい  
ます。例えば、将来の自分の幸福像を  
イメージするとします。三年後には子  
どもが有名な学校に入って、五年後  
には夫が出世して、十年後には念願のマ  
イホームを手に入れるといった具合に  
です。そして、その通りに事が運ぶこ  
とが幸せだと思いい入っています。そん  
な幻想を抱いているのです。

いつまでも優しい夫でいてほしい。  
尊敬のできる両親であってほしい。良  
妻賢母の妻でいてほしい。素直で明る  
く、勉強もスポーツもできる子どもで  
あってほしい。願いは願いとして、そ  
れが叶う保証など、どこにもないんで  
す。家族を自分の思い通りにコント  
ロールすること



など、到底不可能なの  
です。

僕はまったくの  
放任主義で、これ  
までわが子の将来に

関して一切注文をつけ

たことはありませんでした。だから、  
二人の息子たちはのびのびと好きな道  
を歩いてきたけれども、挫折や失敗も  
たくさん経験してきました。

特に、二男の**大気**(39)は高校生の  
とき、役者としてデビューしたのです  
が、これがまったく売れませんでした。  
そのうち、夜の街を遊び歩くようにな  
りましてね。普通なら首根っこつかま  
えてでも、叱りつけるじゃないですか。  
でも、私たち夫婦は、彼の性分が分かっ  
ているから、あえて叱りつけることは  
しませんでした。その代わり、へあの  
子には、他人を思いやる優しさがある。  
大気ならきっと大丈夫と、心から信



じて見守っていたのです。

その後、高校を卒業した大気は、宝  
石販売やバーの経営など、さまざま  
な事業に手を出しては失敗し、多額  
の借金を抱えたこともありました。そ  
れでも、彼は根っからの楽道家とい  
うか、少しもめけていないのです。そ  
の後、タクシーの運転手になると、水  
を得た魚のようにトップセールスを  
あげ、今では市議会議員として活躍  
しています。

いい学校に入って、いい会社に入る  
ことが人生の目標だったなら、彼は落  
ちこぼれかもしれません。ところが、  
大気は、そんなふうにはルールに乗るこ

とだけが生き方じゃない、いろいろな  
生き方があっていいと、私たち夫婦に  
教えてくれました。目指すべきは、成  
功や幸せではなく、「豊かな人生を歩  
むこと」なんだろうと思います。心が  
豊かであれば、挫折や失敗は人生を彩  
り豊かなものに変えていきます。今を  
生きる喜びがあふれてくるのです。

プロフィール

●しもだ かげき  
1940年、静岡県生まれ。  
中央大学法学部卒業後、  
さまざまな職業を経て、  
76年に作家デビュー。80  
年に『黄色い牙』で直木賞  
受賞。98年より子どもた  
ちへの絵本の読み聞かせ  
活動を全国各地で展開。  
2010年から開始したツ  
イッターでは、心に響く名  
言や人生相談への的確な  
アドバイスが共感を呼び、  
多くの愛読者がいる。